

総合的な探究の時間 “なすことによって学ぶプロジェクト”

地域防災に関する意見交換を行いました

7月15日(火)、3年4組なすプロD班の生徒4名が、春野町弘岡下防災会長俊成様、同じく弘岡下防災会より川田様にお越しいただき、お話を伺いました。

D班のテーマは「南海トラフ地震に備える～自主防災組織の提案～」。

「今、地震がきたらどうする?」という問いかけからはじまり、災害発生時には「まずは自分の命を守る」という最も大事なことを確認したあと、地域で取り組まれている防災活動の内容、避難所運営の課題などについてお話を伺い、意見交換を行いました。

避難所運営で高校生にできることは何か、という生徒の問いに対し、ちょっとした荷物を運んでもらったり、被災して気持ちが落ち込んでいるお年寄りの気持ちが和むよう、子どもたちの明るい声がきけたらありがたいというお話や、これまでの地域の避難訓練では、受け付けで名前などの個人情報を書いてもらうだけでかなりの時間がかかったことから“デジタル防災”の推進を図りたいが、高校生にその普及を担ってもらえたらありがたいというお話などをいただきました。

今後の活動に多くの示唆をいただけた有意義な機会となりました。ご協力いただきありがとうございました。

